

2020 年度住総研研究助成

豊島区における外国籍世帯を対象とした 住まい環境のニーズと現状把握調査報告<速報版>

2021 年 9 月 27 日発刊

インクルーシブまちづくり研究委員会、 豊島区政策経営部多文化共生推進担当
 東京都市大学都市生活学部都市イノベーション研究室
 環境学部都市環境分析研究室

このたび、豊島区と東京都市大学は、豊島区にお住まいの日本国籍以外の方を対象に、住環境の満足度等について調査を行いました。豊島区にお住まいの皆様にとってより良い住まい環境の構築と多文化共生推進施策に役立てるために、住環境の状況と満足度を把握し、改善策を検討してまいります。本報告は、調査結果の一部を迅速にお知らせするためのものです。

1. 調査概要

調査対象は、豊島区在住の 25～50 歳の日本国籍以外の世帯を対象としました。住民基本台帳をもとに無作為に抽出し、郵送で 11,504 世帯宛に案内を送付しました。また返信は Web を介して回答を受け付け、個人を特定できない形式で集計を行いました。調査期間は、2020 年 12 月 20 日から 2021 年 1 月 8 日でした。通常の日語での回答が最も多く、次いで中国語(簡体字)、英語の順に回答が得られました。

調査概要		言語別回答状況	
		言語	回答数
配布期間	2020 年 12 月 20 日 ～2021 年 1 月 8 日	日本語	293
調査形式	郵送による案内送付 および Web 回答	やさしい日本語	19
調査対象	豊島区在住の 25～50 歳の 日本国籍以外の世帯主 (全数:11,504 人)	英語	166
回答数	890 件	韓国語	44
回答者	世帯主本人	中国語1:簡体字	234
		中国語2:繁体字	44
		ネパール語	14
		ビルマ語(ミャンマー語)	43
		ベトナム語	33
		合計	890

2. 回答者について

2.1 性別

男性 428 人、女性 439 人、回答しない 23 人であり、ほぼ半々の結果となりました。

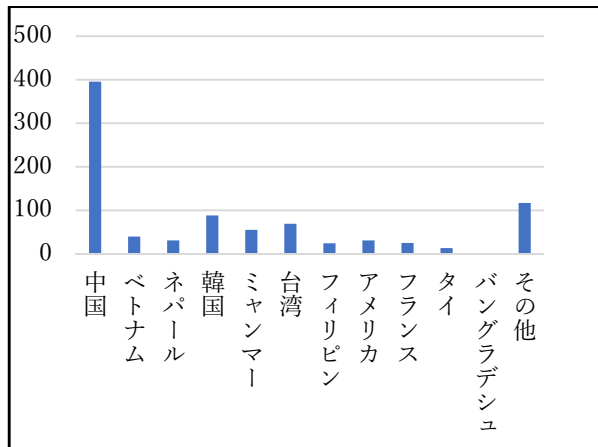
2.2 出身国・地域

出身国・地域は、中国が最も多く、その次は、韓国、台湾の順に回答者が多い傾向でした。

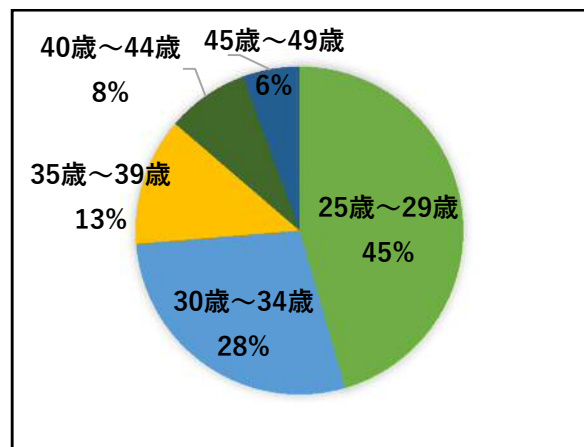


2.3 年齢

25歳から29歳までの回答者が45%となり、最も多くを占めていました。30歳から34歳までは28%となっており、25歳から34歳までの回答者が全体の7割を超えています。



回答者の出身地域 (N=890)



回答者の年齢 (N=890)

2.4 世帯属性

回答者のうち、単身世帯が478名で54%を占めていました。続いて、2人世帯が235名、26%となっており、単身世帯と2人世帯で全体の8割を占めていました。

世帯属性

世帯属性	回答者数(名)
単身世帯	478
2人世帯	235
3人世帯	85
4人世帯	46
5人以上世帯	46
総計	890

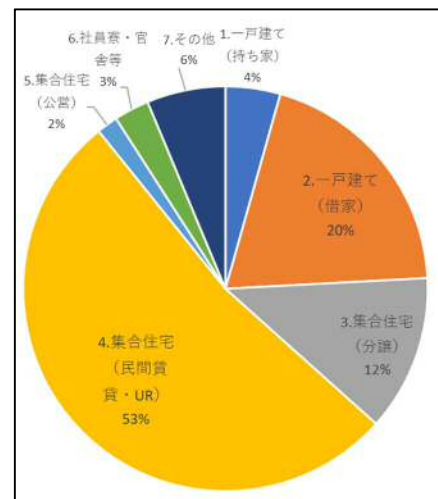
3. 住環境に関する現状

3.1 住まいの状況

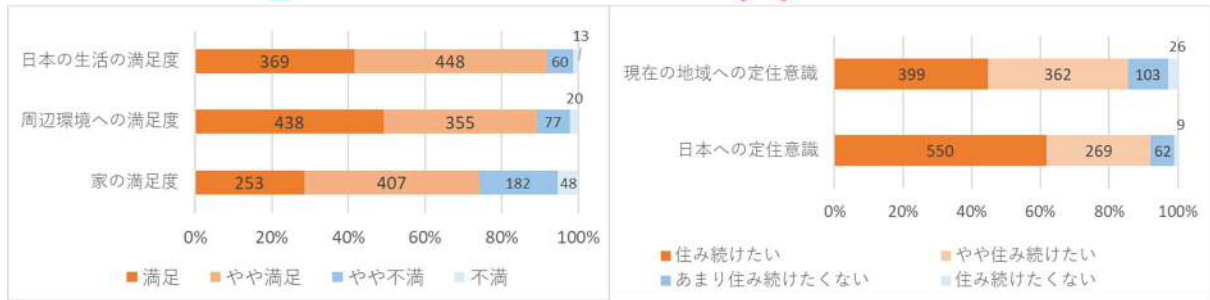
住まいの現状として、集合住宅(民間賃貸・UR)に居住する人が半数以上でした。

3.2 生活とお住まいの満足度

日本に住み続けたいと思っている回答者が全体の8割以上となっている中で、現在の地域に住み続けたいと思っている人も8割以上という非常に高い水準であることがわかりました。また、「家」について満足している回答者も8割近くになっています。



回答者の居住形態 (N=890)



生活満足度および定住意識 (N=890)

3.3 住まい選択の理由

住まい選択の理由として、「電車・バスなどの公共交通が便利である」(98%)、「買い物などに便利である」(91%)、「通っている職場・学校に近い」(89%)、「家賃・価格が手ごろだった」(87%)の順に「重視した」「やや重視した」と回答していました。

次に、「近くに行きたい店や飲食店、場所、施設がある」(74%)、「立地する地域の景観や緑、雰囲気が良い」(73%)、「周辺の教育・医療・福祉などの環境が整っている」(70%)も、7割程度の方が「重視した」「やや重視した」と回答しています。

一方、住まい選択の理由として「子育て環境が良い」ことや「近くに知人や親戚がいる」ことを「重視した」「やや重視した」方は4割程度とやや低く、「近くに仕事関係の人が住んでいる」ことを「重視した」「やや重視した」方は2割程度にとどまりました。

住まい選択の理由	重視した		やや重視した		あまり重視しなかった		重視しなかった	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
電車・バスなどの公共交通が便利である	737	83%	133	15%	14	2%	6	1%
通っている職場・学校に近い	506	57%	286	32%	76	9%	22	2%
買い物などに便利である	535	60%	273	31%	65	7%	17	2%
周辺の教育・医療・福祉などの環境が整っている	316	36%	305	34%	196	22%	73	8%
子育て環境が良い	219	25%	162	18%	223	25%	286	32%
立地する地域の景観や緑、雰囲気がよい	309	35%	342	38%	156	18%	83	9%
近くに知人や親戚がいる	121	14%	203	23%	242	27%	324	36%
近くに仕事関係の人が住んでいる	89	10%	114	13%	239	27%	448	50%
家賃・価格が手ごろだった	516	58%	259	29%	80	9%	35	4%
近くに行きたい店や飲食店、場所、施設がある	360	40%	300	34%	147	17%	83	9%

注) 各比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない

3.4 現居住地の環境(建物・周辺)の現状

現居住地の環境についてお聞きしたところ、買い物と交通の便利さに9割以上の肯定的な回答がありました。

次に、「ごみの収集・処理に問題はない」、「近くに病院や診療所などの医療機関があり、便利」、「防犯、治安が良い」については、肯定的な回答が8割程度もあり、「近所の公園・緑地・広場が利用しやすい」、「図書館や区民ひろばなどの近隣の公共施設が整っている」についても7割程度の肯定的な回答がありました。

また、「近所の日本籍住民とのつきあいが円満である」「近所の外国籍住民とのつきあい(同郷を含む)が円満である」について、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」との否定的な回答は、わずか1割にとどまりました。

現居住地の環境	あてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		あてはまらない	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
交通が便利(駅やバス停からのアクセス)	627	70%	189	21%	57	6%	15	2%	2	0%
日常的な買い物便利	602	68%	202	23%	63	7%	23	3%	0	0%
近くに病院や診療所などの医療機関があり、便利	442	50%	264	30%	151	17%	29	3%	4	0%
子どもの学校や保育所からのアクセスがしやすい	278	31%	182	20%	370	42%	28	3%	32	4%
インターネット環境など情報通信が整っている	398	45%	255	29%	170	19%	52	6%	15	2%
騒音・振動・悪臭がない	266	30%	253	28%	158	18%	144	16%	69	8%
下水・排水処理に問題はない	465	52%	257	29%	120	13%	36	4%	12	1%
耐火設備、防火対策が整っている	401	45%	273	31%	183	21%	21	2%	12	1%
耐震対策がなされている	339	38%	286	32%	222	25%	20	2%	23	3%
防犯、治安が良い	406	46%	274	31%	154	17%	39	4%	17	2%
ごみの収集・処理に問題はない	493	55%	254	29%	97	11%	35	4%	11	1%
「図書館」や「区民ひろば」など近隣の公共施設が整っている	321	36%	264	30%	238	27%	41	5%	26	3%
近所の公園・緑地・広場が利用しやすい	344	39%	278	31%	186	21%	57	6%	25	3%
近所の日本籍住民とのつきあいが円満である	249	28%	221	25%	333	37%	53	6%	34	4%
近所の外国籍住民とのつきあい(同郷を含む)が円満である	225	25%	212	24%	372	42%	49	6%	32	4%

4.外国籍住民への行政支援についての満足度

行政支援については、その支援内容を知らない回答が一定数目立ちましたが、「区役所の窓口相談」、「行政手続・書類の多言語対応」については認知度が高く、「とても満足」「やや満足」と利用者の6割以上が肯定的に回答していました。また、「貸付・家賃補助」、「妊娠期間中と出産支援」、「児童手当」、「学校・保育での言葉の支援」、「子どもの遊び場・居場所」など対象者が限られている行政支援については、あまり認知度は高くありませんでしたが、その制度を知っている方の中では、「どちらでもない」「やや満足」「とても満足」の順に多い回答が得られました。

行政支援	とても満足		やや満足		どちらともいえない		やや不満		とても不満		その制度を知らない
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
日本語学習支援	97	16%	146	24%	347	56%	25	4%	5	1%	270
多文化交流のイベント	81	13%	149	24%	345	56%	34	6%	6	1%	275
区役所の窓口相談	256	34%	295	39%	172	23%	29	4%	12	2%	126
行政手続・書類の多言語対応	219	29%	260	34%	228	30%	44	6%	12	2%	127
貸付・家賃補助	81	14%	107	18%	317	54%	63	11%	24	4%	298
ピザ関連相談	100	16%	146	23%	322	51%	41	6%	23	4%	258
妊娠期間中と出産支援	94	16%	110	19%	360	62%	14	2%	4	1%	308
児童手当	108	18%	112	19%	352	59%	17	3%	6	1%	295
学校・保育での言葉の支援	94	17%	102	18%	352	62%	14	2%	7	1%	321
子どもの遊び場・居場所	120	19%	147	23%	332	52%	25	4%	12	2%	254

注)行政支援についての満足度の比率は、全体回答数から「その制度を知らない」を除外したものです。

<お問い合わせ先>

インクルーシブまちづくり研究委員会・東京都市大学都市生活学部都市イノベーション研究室

TEL：03-5760-0243

E-mail：inclusiveplanning2020@gmail.com

